

市政に関する一般質問 12月会議は17名の議員が質問

令和4年度予算編成について

小易和彦 議員

問 対象を高校生等までに拡充した子ども医療費助成制度や、多子世帯に対する保育料及び学校給食費の軽減は、子育て世帯への支援として有効な事業であると考えます。令和4年度以降、これらの事業についての市長の考えを伺います。

答 これらの事業は、未来を担う子どもたちの健全な成長のために大変重要な施策と捉えています。こうした取り組みにより、新型コロナウイルス感染症の影響を受けた子育て世帯の支援、ひいては子育て世代、働き盛りの世代の流入促進にもつながるのではと期待しています。最終的には予算編成の中で決定していきます。

ひとり親家庭への支援について

松澤武人 議員

問 養育費の確保を図るための、ひとり親家庭への支援策を伺います。

答 養育費の取決め内容の債務名義化を促進し、継続した履行確保を図るとともに、ひとり親家庭の生活の安定やひとり親家庭で育つ子どもの健全な成長を目的として、令和3年4月より、養育費に関する公正証書等の作成に必要な費用を助成する制度を実施しています。

問 助成制度の執行状況について伺います。

答 助成金額の上限を2万3千円と設定しており、令和3年4月から11月末までに3件、約4万3千円の助成を行いました。

問 面会交流の支援について伺います。

答 養育費相談支援センターの協力のもと、個別相談会を実施しています。

市道20号線(くぬぎ山自衛隊官舎前) 拡幅工事について

土屋裕彦 議員

問 事業完了に向けた今後の予定について伺います。

答 本事業は、平成26年度に整備計画を策定してからおおむね7年が経過しています。地域の方から整備についての強い要望をいただいている中で、進んでいないことは大変申し訳なく思っています。市としても、早期に整備する必要があると認識しているため、引き続き鋭意用地取得に係る協議や工事を進め、早期の完成を目指していきます。

問 用地を取得しなければ事業は進まないとのことですが、この問題解決に対する力強い決意を市長に伺います。

答 用地取得については陸上自衛隊松戸駐屯地との協議を進めていきますが、一日でも早い整備に向け、私も様々な機会を捉えて関係機関に働きかけを行うなど鋭意取り組んでいきたいと考えています。



行政事務のデジタル化と行政手続きのオンライン化について

矢崎悟 議員

問 デジタル庁の創設により行政手続きのオンライン化は、加速度的に進んでいくと考えますが、期待される効果について伺います。

答 窓口に来ることなく、自宅のパソコンやスマートフォンなどから、夜間、休日を問わず、自分の都合のよいときに申請や届出が可能となるほか、マイナンバーカードの電子証明書を利用して申請することで、これまで必要であった本人確認書類などの添付が不要となるなど、さらなる利便性の向上が期待されます。

問 スマートフォンやマイナンバーカードの使い方など高齢者等のデジタル活用を支援



実施しているほか、母子・父子自立支援員が面会交流の必要性、実施方法、取決め方法などの相談に応じるとともに、必要な情報提供などの支援を行っています。

自治会 について

中村潤一 議員

問 自治会加入率の推移と加入率低下の要因を伺います。

答 加入率は、平成29年度が約63.9%、令和3年度が約57.9%と6%減少しています。加入率低下の要因としては、加入しない若い世代や、役員などを引き受け難いことを理由に脱会する高齢者が多いことなどが考えられます。

問 加入促進の取り組みとその成果について伺います。

答 市と自治会連合協議会の協働で、毎年2月を自治会加入促進月間として周知活動を行っています。令和2年度はコロナ禍で中止しましたが、過去には宅地開発時のチラシ配布などにより、新たな加入申込みがありました。

問 コロナ禍の自治会活動と課題を伺います。

答 従来の方法での地域活動

の実施が困難となり、会員相互のコミュニケーションが取りにくいことが最大の課題でした。そのため、回覧の代わりに掲示板を活用した情報発信や、新しい生活様式に対応したマニュアルを作成し、各自治会長に配布しました。なお、現在は感染状況が落ち着いていることから、12月10日から自治会回覧を段階的に再開する予定です。



鎌ヶ谷市のデジタルサービスについて

森谷宏 議員

問 本市におけるデジタル決済の納付方法について伺います。

答 本市では、令和3年度から国の補助事業として10の携帯ショップで実施しています。今後は、今年度の実施状況やその成果を見極めながら国や他の自治体の実施状況等を検証していきます。

問 市ホームページは、コンビニでのデジタル決済が選べるようにしてほしい。

答 本市のキャッシュレス決済における納付方法は、スマートフォンを使用し、インターネットバンキング決済及びクレジットカード決済が選択できます。



道路行政 について

後関俊一 議員

問 道路附属物の点検方法について伺います。

答 週1回の道路パトロールによって、道路附属物の変形や異常の有無を目視により確認し、異常等があれば、触診、打音などにより状態を把握しています。特に、ポルトの緩みや脱落、溶接した箇所腐

問 道路附属物の計画的な維持管理について、市の見解を伺います。

答 本市では、国土交通省が策定した要領に基づき、道路附属物の点検を実施していますが、点検時期や修繕などが一時的に集中するなどの課題があるため、計画的な維持管理に取り組みたいと考えています。

鎌ヶ谷市都市計画マスタープラン 全体構想(案)について

佐藤剛 議員

問 鎌ヶ谷市都市計画マスタープラン全体構想(案)では、現在の都市計画マスタープランにはなかった新たな視点が含まれています。特に、緑を都市のインフラと捉えて整備していくという視点は非常に大切だと思いますが、本市のグリーンインフラについての考えを伺います。

答 緑と水・都市景観形成の分野別方針では、まちづくりの基本目標の一つである「緑あふれる持続可能なまちづくり」の中で、自然環境が有する多様な機能を活用し、持続可能で魅力ある都市づくりを進めるグリーンインフラの取

認知症対策 について

伊福幸一 議員

問 認知症の早期発見のため、高齢者が自宅から電話で気軽にできる認知機能テストや、デジタルツールを使用した脳の健康チェックの導入について、市の見解を伺います。

答 認知症の予防対策として、指先や脳を使うことにより認知機能の向上などが期待されるeスポーツの講座や、しりとりや計算と運動を組み合わせた認知機能訓練のヨガやサイエンスの導入について、市の見解を伺います。

問 高齢者が楽しみながら取り組め、参加者同士のコミュニケーションを図ることで幅広く活性化される効果があると考えられるため、介護予防事業の中での活用も含めて調査研究していきます。

テンツのちよつとした工夫で、市民が必要な情報にアクセスしやすくなると思いますが、市の見解を伺います。

答 個々のコンテンツにおいては、さらなる改善の余地があり、視覚的に分かりやすいホームページとなるよう取り組んでいきます。具体的には、文章のみの説明によることなく、説明文と並行してQ&Aの掲載や囲み線の使用など、全庁的に周知を図っていきます。